

**授業概要**

本講義では経済政策がなぜ必要なのかという経済政策の課題と目的という基礎理論からはじめます。政府は市場の失敗から国民を守るセーフティーネットとして様々な経済政策をおこないます。特に第二次世界大戦後の日本の経済政策は世界経済の影響を多く受けており「世界の中の日本」という視点が必要です。具体的には高度成長期の所得分配政策や、マクロ的な財政政策、金融政策などをその時代背景とともに理解します。市場原理の限界と経済政策を経済学と政策科学という二つの領域から学びます。

**授業計画**

第1回	経済政策の目的(ガイダンス)
第2回	市場の原理と経済政策
第3回	市場の失敗と経済政策
第4回	市場の成長と安定化政策
第5回	財政政策
第6回	金融政策
第7回	再分配政策
第8回	第二次世界大戦後の世界経済
第9回	戦後の世界金融システム
第10回	世界金融システムと日本経済
第11回	戦後復興から高度成長期の経済政策
第12回	石油ショックと高度成長の終焉
第13回	バブル景気と経済政策
第14回	日本経済の構造変化と経済政策
第15回	私たちの暮らしと経済政策
第16回	定期試験

**到達目標**

市場経済の発展と経済政策との関係、また市場の失敗と経済政策との関係を日本経済の具体的事例とともに説明できること。

**履修上の注意**

配布プリントを活用してノートをとること(ノートの取り方は最初に説明します)。  
必要と思われるときに確認ペーパーを実施する。

**予習復習**

ノートを利用して復習してください。

**評価方法**

確認ペーパーなど(20%) 期末試験(80%)

**テキスト**

テキストは指定しないが参考文献を授業時に指示する。